

美浜町運動公園整備事業に関する住民説明会記録

日 時	令和2年1月11日（土）19：00～20：45
場 所	奥田公民館（奥田北・中）
出席者	説明者 齋藤町長、永田副町長、山本教育長、杉本総務部長、石川産業建設部長、八谷厚生部長、天木教育部長 夏目総務課長、宮原都市整備課長 参加者：約129名
内 容	

事業の経緯・概要説明 都市整備課長 15分間 資料による

町長の経過説明 町長20分間

町民に大変なご心配とご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今回の説明会では、これまでの概略と今後のことを説明している。

運動公園について、12年ぶりに町長になり、8か月半悩みながら今日を迎えている。皆様からご支持いただいた運動公園の問題を職員に検討を指示し、県・国にも選挙の結果を報告し、どうしたらいい方向に進めていけるかを検討した。

私が目指していた区画整理は、28年前から駅周辺を区画整理したいと思いがあつたができなかった。

今回、運動公園構想が上がってきたため、「美浜町民の幸せと将来を考える会」で問題提起した。

選挙の結果、期待に応えるべく検討したが町営の区画整理はできず、公約したことができないが、20ha以下の民間開発ならできることが分かった。地価が安く工事費が必要な中で、ある大手メーカーが8億円で買ってくれる提案があつた。

しかし、これまで進めた運動公園事業を中止した場合に、交付金や借入金の約6億円を即返還する必要があると、次年度の予算設計ができなくなることも分かった。

では、どういう方法でやるか、一つは経費を下げるスペックダウン、一つはもっと下げて、グラウンドゴルフとかお金のかからない公園整備をする方法。

はっきりと分かったのはストップできないことで、12月議会前に分かった。

住民投票の必要はなくなったため廃止したが、説明会は行うこととした。

これからどうするか。議員とも執行部とも十分検討し、一番いい方法で進めようと今日を迎えている。

また、県、国とも話をしている。迷惑をかけていることを詫び、町民の意向なので知恵を貸してほしいとお願いした。12月には伊藤国会議員、県都市整備局長も同席し国交省で報告をした。

事業を止めることはできないから進めるしかないことを報告し了承いただいた。

何とかいい形で進めたいが、素晴らしい競技場ができて活性化するのは大学の力を借りるしかないと思ひ大学と話をした。大学も素晴らしい構想を持っており、協力してくれると言っている。大学と一体となっていくしかない。一緒に活性化していくことが町としても大事なこと。

もう一つ、これからの美浜のこと。少子高齢化が進んでいる。各学区で子供が減少している。教育委員会との話の中で小中一貫校を考えている。親が子育てをしたい町にするため、R7年までに統廃合できるように決定したい。町の中央部には総合公園の拡張計画があり、第2グラウンドを集約する。美浜ICに近く体育館、図書館、グラウンドがあり美浜の玄関口で高台である。避難所でもあり、あの周辺へ小中一貫校と保育所をまとめたい。美浜の町をよくするテーマだ。

もう一つ、産業の活性化も必要で奥田は良い農地がある。奥田平井は、かつて30haのスプリンクラー防除を整備したが今は荒れている。農水省100%補助でこれからの後継者がいい経営ができる農地整備を担当に指示している。

観光も空港から美浜に周ってくるストーリー。美浜の良いところ（ビーチランド、大学、大坊、ゴルフ場、灯台、海岸）を活かすことが大事。

皆様の意見をいただいて、プラス思考でいい形の町となるよう一体となることが大事。議会と長と執行部が一致した町にしなくては本当の事業はできない。

議会としっかり話をしながらいい形に持っていかれたらと思っている。

(補足 総務部長)

運動公園事業を中止した場合には、これまでの事業実施による国からの交付金及び借入金約6億円を返還する必要が生じる。返還には町の財政調整基金を充てるが、現時点での残額は5億円で返還額に満たない。返還すると今後の行政運営に多大なる影響があるため、町長は運動公園整備事業の継続を判断した。

質疑応答（・質問 ⇒町回答）

男性1

・運動公園事業の継続を決断してくれてありがとう。

懸案の駅前整備に地主全員が同意して土地を提供した。色々な意見があるが、町長を始め、議会、職員、各団体の関係者がワンチームとなって検討してほしい。

地主が提供した土地を有効に使って運動公園を造ってほしい。

女性1

・運動公園整備事業に関してメインは陸上競技場だが、その規模は身の丈に合った計画だと思う。テレビで見るような立派なものではない。

子供が遊ぶ広場や健康づくりのブースも計画されていて、自然環境の中で私たちが利用できることは素晴らしい。

防災についても、耐震性貯水槽の計画がある。災害時に半島は孤立してしまう恐れがあるので期待していたが、防災の交付金を返すことになったと聞いた。計画にはどうなっているのか。

⇒計画がなくなったわけではない。R1年度の交付金2億3,400万円の内示があったが、事業中止を前提となり計画どおりの着手できず消化できないため返すことになった。交付金名は「防災安全交付金」であるが、防災施設のみを対象とするものではなく競技場や他の公園施設も交付金の対象となる。貯水槽の設置は事業の後半となる見込みなので、その際には交付金対象として申請していく。

男性2

・選挙公報で町長は、ストップと書き、議員は運動公園を造るとは書いてない。

選挙の結果が一番重いのではないか。何のために選挙をやったのか。説明する前に選挙の結果を重視するべきだ。

チャレンジの9人は、町長の邪魔をしても折り合いがつかない。

折り合いがつかないなら、3年後の選挙まで事業を中止したらどうか。そうすればはっきり解決できる。

⇒ストップすると公約したがストップできない。やるしかない。やる以上は良いものを造りたい。これまでの課題である河川改修も県にお願いしている。

競技場は、大会誘致や指導は日福大の協力が必要。

進める以上は、大学の力を借りながら更にいい町とするような前向きな発想で行けば大丈夫だと思う。議会も同じ思いなので一体で進めたい。

男性3

・皆さんお金の心配をしているが、奥田駅前が整備されることには賛成であると思

う。以前は説明していた日福大の下宿生による500億円以上の消費効果や地方交付税の収入、学生アパートの固定資産税収入4,700万円も含めた経済効果をもっと説明すれば住民の不安が無くなると思う。

引くも地獄、進むも地獄というのが、地獄に進むのか。やると決めたからには希望への道を語れるようにしてほしい。

⇒ある人の表現を引用したもの。これまでの会場でのアンケートを見ると町の説明不足を感じ、運動公園以外の計画についても説明に加えたもの。

男性4

・運動公園整備事業の中止を掲げてきた町長が、美浜町の将来を考えなおし事業継続を決断したことを高く評価したい。

長年にわたり多くの方で検討し、美浜町の将来のために進んできた大事な事業計画であるから事業規模を縮小することなく従来の計画どおりで早期に完成できるように努力してほしい。

⇒議会ともしっかり検討しながら、よりいい形で進めることができると念じている。

女性1

・町長は、縮小とも言っているが、縮小したらまちづくりできるのか。競技場をこれ以上スペックダウンしたら全国から来てもらえるだろうか。

運営には日福大の力が必要で営業活動も大切。

今、町長がスペックダウンと言ってはマイナスになってしまう。日福大としっかり連携をとっていくようお願いしたい。

⇒スペックダウンというのは今までの発想であり、今は議会とよく検討し、どうせ造るなら皆さんに来ていただけるよう進めることを考えている

・12/27 中日新聞に「事業縮小で議会と合意」とあるが町長の一存ではないか。議会と本当に話をしたのか。これからは自分だけの道を行かず議会としっかりと話をしてほしい。新聞社もしっかり報道してほしい。

⇒しっかりとやっていく。

町長から計画どおり進めていくという方針が示されたので、これまでの日福大との検討会も再開していく。運営費にもついても検討していく。

男性5

・午後の説明会で公認の一部2種仕様の3種競技場を造ると言っていたのでその線で進めてほしい。

将来的には、競技場を起終点とする4～5千人規模のハーフマラソン大会が開催できるよう公道の整備もお願いしたい。

⇒近年この地域では、サイクリング等も多い。過去にはトライアスロンもやった。

競技場を使い美浜町の特性を活かしていきたい。

男性6

・町長は継続を決めたが、具体的な考えはないと思う。職員が計画し積み上げたものを信用せず、不安を煽ることはないと思う。

計画通り進めば借入金の償還もできることになっている。

チャンスを逃したら補助金を含めて国から認められなくなる。良い計画であるから交付金も出ている。

議会も住民の代表として予算上できると判断してここまで進んでいる。

経済効果もその通りだと思う。

計画をよく認識し職員を促すように進めてほしい。

男性3

・事業期間がR5までの計画だったが、中断により延期になるのか。

⇒当初の計画どおりにはいかない。1～2年は延びると思う。

女性 2

・娘が陸上をやっているので事業の継続はありがたいが、競技場の説明が足りない。公式試合と非公式試合では集客、収入が全く異なるので、収益部分の説明も欲しい。町外から収益を集めるのは美浜町にとって必要だと思う。競技場レベルを下げると収益が下がるという説明も必要。

⇒そのつもりで進めている。

陸上競技場の設計については、陸上競技協会と詰めている途中で内容が決まれば誘致へと移行していく。知多地域での公式大会数は主な大会で40回行われている。

サッカーについては、愛知県サッカー協会の会員数が約6万人。知多サッカー協会は97団体あり、ラグビーは、愛知県ラグビーフットボール協会に173団体のチームが加入しており日福大、武豊高、横須賀高などがある。

陸上競技に限らずサッカーやラグビーの利用も期待している。

グラウンドの設計が固まった段階で情報提供していく。

男性 7

・競技場はコストを下げ小さくするのは難しいのではないかと。人工芝ではサッカーラグビーは難しい。

貯水槽は飲み水ではなくて雨水を貯めるものではないか。

電光掲示板も増えてくる。

庁舎が古いが何かあった時に大丈夫なのか。余裕があるのか。

⇒耐震性貯水槽は、水道管が繋がった飲料水用で、調整池は、開発により雨水を一旦貯めて川に放流するためのもの。

庁舎の耐震補強をH18に行いIS値は0.75以上を確保しているため耐震性はある。築50年経過しているため長寿命化計画で取り組んでいる。

運動公園建設の財源は、目的税の都市計画税であり、庁舎の建設には使えない。維持管理費は一般財源であるが効率的な運営でカバーしたい。

女性 3

・東海岸の説明会は、具体的な話ができる雰囲気ではなかった。

町に対して一緒になって決めようという姿勢がないことへの不満があり、住民の意見を聴ける体制があればと思う。

我々が知っている事業のことでも全く知らないとかの差を感じた。温度差を下げる努力を。

⇒職員ともども町民の声をしっかり聴いて、学びながらやっていきたい。

教育長から学校再編の説明

美浜町では少子化が進行している。河和南部小は近々の課題として河和小に合併する予定。他学区も同様であり今後の校舎管理等も考慮し小中一貫校の建設を目指している。今後も情報提供する。

厚生部長から事業の説明

風力発電について条例施行した。太陽光発電はガイドラインで対応している。土取りと改良土の持ち込みを規制することを検討している。

広域ごみ処理場を2市3町で武豊町に建設中でR4から処理を開始する。ごみの減量が求められ、有料化となるのでご理解いただきたい。

火葬場を南知多町と建設しR4稼働するので、改めて説明する。

男性 8

・太陽光や風力の苦情はどこにいうのか。役場か地主か。

- ⇒町の担当課までご一報ください。
 - ・農地を多く転用しているがおかしいのでは。
 - ⇒農地により異なるが、第2種、3種の農地転用は可能である。
 - ・美浜緑苑の周りはいいのか。
 - ⇒農地でなく山林の場合もある。ガイドラインに基づき指導していく。
- 知多5市5町で全国町村会へ環境省での法律化を提言している。

女性4

- ・教育やごみの問題を、美浜町運動公園整備事業に関する住民説明会の残った時間での説明に留めず、それぞれについてしっかりと説明会を開いてほしい。

